

HOT INFORMATION

● カンガルーの赤ちゃん まもなく誕生

カンガルーのモモに待望の赤ちゃんが産まれそう。お母さんのお腹の袋から足や尻尾が時おり出ているものの、顔はだれも確認していない。大森山動物園では3年ぶりのことで期待が高まる。



● アライグマ「ゼニタナゴ保全に 僕も一役買ってます」

9月から始まったアライグマのまんまタイム。園内にある塩曳渦で獲れたアメリカザリガニを与えている。塩曳渦には絶滅危惧種のゼニタナゴが生息しているが、このアメリカザリガニはタナゴが卵を産みつけるドブ貝を食べてしまう厄介者。外来種のアライグマが日本古来のゼニタナゴを守るため、外来種のアメリカザリガニ駆除に一役買っている。



● シフゾウ、エサのロープウェイ

今年から有料のエサやり体験が毎日できるようになったが、こちらは不定期で無料サービス中のエサやり体験。紐の先のクリップに枝を挟み、シフゾウに近くまでエサを運ぶと嬉しそうに食べてくれる。少しでも動物たちと触れ合った気持ちになれる密かな人気スポット。さあ、今日はやってるかな？



● ライオンの赤ちゃん危機脱出

3月に産まれた三つ子の赤ちゃんの「ヴェヴェ」と「ミミ」が体調を崩し隔離された。一時は立って歩けなくなるほど体調が悪化し飼育係を心配させたが、半月後、奇跡の回復力で危機脱出。今は3頭元気に仲良く展示場内で過ごしている。

